

## 4 環境行政のさらなる推進

## 第7章

環境行政のさらなる推進のために以下のことに取り組みます。

## 《環境プロモーション》

世界の多くの都市が環境の取組を都市のイメージ戦略として活用しており、プロモーションはその核心を担っています。今後は、横浜の取組を国内外に向けて広く発信し、世界の中で“選ばれる都市”を目指します。

## 《環境行政のプロセス管理》

環境施策の取組状況を分かりやすくまとめ、その効果を検証します。また、市民の皆さまや横浜市環境創造審議会からのご意見を、個々の取組の評価や総合的な視点での提案につなげます。

## 《環境価値と防災機能が両立した取組》

東日本大震災や近年多発する大雨などの自然災害を受け、横浜市においても都市の防災機能の強化が強く求められています。環境行政においても、災害時に防災機能をあわせ持つ取組や、治水対策や総合的なまちづくりと一体となった取組を進めます。

## ◆環境価値と防災機能が両立した取組

災害時に途切れない多様なエネルギー源、公園や樹林地の避難場所・延焼防止としての機能、治水対策とあわせた環境への配慮など

## ◆防災施策と連携したまちづくり

エキサイトよこはま22における治水安全性の向上と親水空間を確保した浸水対策、みなとみらい21地区における災害時のエネルギーシステムの自立強化など



電気自動車の普及



蓄電池の設置



まとまりのある森(樹林地)の保全

## 5 横浜の環境の現状を知るためには

横浜市環境の現状と、様々な環境施策・事業の取組状況について、毎年振り返りを行い、その結果を環境管理計画年次報告書「横浜の環境」として取りまとめています。

「横浜の環境」は、市役所市民情報センター、区役所、図書館等で閲覧できるほか、環境創造局のホームページ(<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/etc/jyorei/keikaku/kanri/>)でも閲覧できます。

平成26年版  
「横浜の環境」

横浜市環境創造局政策課 231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL:045-671-4102 FAX:045-641-3490  
URL:<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/etc/jyorei/keikaku/kanri/>

## 横浜市環境管理計画

平成27年1月改定

概 要 版

## 1 横浜市環境管理計画とは

「横浜市環境管理計画」は、環境施策を総合的かつ横断的に進めるため、「横浜市環境の保全及び創造に関する基本条例」に基づき策定している環境の総合計画です。平成23年4月に策定した計画が平成25年度までの短期的な計画目標期間を満了することに伴い、計画を改定しました。今後、この計画に基づき、脱炭酸化に向けた低炭素社会や、豊かな生物多様性の実現など、横浜が目指す将来の環境の姿に向けた取組を進めます。

計画期間	◆中長期的な視点での目標: <b>2025(平成37)年度まで</b> ◆事業実施に関する視点での目標: <b>2017(平成29)年度まで</b>
計画構成	第1章 環境行政の展開 第2章 計画の基本事項 第3章 横浜が目指す将来の環境の姿 第4章 施策の体系 第5章 総合的な視点による基本政策 第6章 環境側面からの基本施策 第7章 環境行政のさらなる推進

## 2 「環境行政の展開」と「横浜が目指す将来の環境の姿」

第1～3章

## 《基本的な考え方》

- ◆東日本大震災の発生を契機に、大量の資源やエネルギー消費に頼る現在社会のあり方を見つめ直し、自然が持つ恵みや脅威を受け入れ“自然と人との共生”を目指す
- ◆その実現に向け、「横浜らしいエコライフスタイル」の定着を行政が積極的に後押ししていく

## 《目指す将来の環境の姿》

環境技術の導入やライフスタイルの変革などにより、温室効果ガスの排出が大きく削減している**低炭素なまち**

郊外部だけでなく、都心臨海部においても身近に多様な生き物を感じられる、水とみどり**豊かな自然環境があるまち**

横浜の「**経済の活性化**」  
「**まちの魅力づくり**」  
などに大きく貢献

## 《現状と課題》

- ◆市民や企業の行動力が横浜の強み
- ◆環境行動が自然な行動として表れるような環境意識の醸成(ライフスタイル・ビジネススタイルの転換)
- ◆環境行動が得をする社会経済システムの構築
- ◆環境問題の多様化・複雑化
- ◆まちづくりや経済成長につながる総合的・横断的施策の展開

## 《今後の取組姿勢》

- ◆市民・企業の主体性発揮に向けて、市民の視点を取り入れた広報や支援制度などの展開
- ◆市民生活、経済、まちづくりなど、あらゆる分野と連携した総合的な環境行政を推進
- ◆市内経済の持続的な成長のため、環境分野を柱の一つとして成長戦略を推進
- ◆「選ばれる都市」に向けて、横浜の環境資源や技術、経験を国内外に発信

「人・地域社会」「経済」「まちづくり」の3つの視点により体系化し、総合的・横断的に取組を進めます。

### 環境と人・地域社会

2025年度までの環境目標

多くの市民が、子どものころから横浜の里山、川、海とのふれあいを体験する機会を持ち、自然環境と地域文化などの関わりを大切にしている横浜らしいエコライフスタイルが日常生活に定着している環境を目指します。

#### ＜2017年度までの主な取組＞

- ・活動団体への支援
- ・企業の環境行動の広報
- ・環境行動フェスタの開催
- ・生物多様性でYES!
- ・自然活動体験の推進



### 環境と経済

2025年度までの環境目標

環境分野の技術・商品による経済活動の展開による市内経済の活性化が進んでおり、また、横浜の自然環境や地域資源をいかした、シティプロモーションや環境技術・ノウハウの蓄積が海外に積極的に展開している環境を目指します。

#### ＜2017年度までの主な取組＞

- ・成長発展分野育成支援事業
- ・動物園におけるシティプロモーションの展開
- ・公民連携による海外水ビジネスの展開
- ・横浜スマートシティプロジェクトの展開
- ・横浜発次世代植物工場技術の発信



### 環境とまちづくり

2025年度までの環境目標

環境配慮と都市活動のバランスが保たれ、住みやすく、働きやすい環境、また、人やモノが移動しやすく、環境にやさしい交通・物流体系が整備され、環境配慮型の建築物が多く見られるとともに、災害にも強い環境を目指します。

#### ＜2017年度までの主な取組＞

- ・みなとみらい2050プロジェクトの推進
- ・都心臨海部の緑花によるにぎわいづくり
- ・交通ネットワークの整備による環境負荷低減
- ・住まいのエコリノベーションの推進
- ・浸水予測情報の周知



## 環境側面からの基本施策 ～個々の環境分野の課題に着実に対応します～

「地球温暖化対策」「生物多様性」「水とみどり」「食と農」「資源循環」「生活環境」の6つの視点から施策を体系化します。また、「地球温暖化対策」と「生物多様性」を重点化し、包括的な分野として取組を進めます。

### 地球温暖化対策

2025年度までの環境目標

市民・事業者・行政が一体となって、エネルギーの効率的な利用や再生可能エネルギーの導入など、快適に低炭素型の生活・事業活動ができるまちづくりを進め、温室効果ガスの排出削減を目指します。

#### ＜2017年度までの主な取組＞

- ・水素エネルギーのさらなる活用検討
- ・住宅用スマートエネルギー設備の普及促進
- ・燃料電池自動車(FCV)の普及促進
- ・超小型モビリティなど次世代交通の推進



### 生物多様性

2025年度までの環境目標

市域全体で生物多様性が豊かになり、誰もが日常生活の中で自然や生き物に親しんでいること、また生物多様性が市場価値として大きな役割を有していることを目指します。

#### ＜2017年度までの主な取組＞

- ・環境教育に携わる指導者への支援
- ・市民参加の生き物調査の推進
- ・生物生息状況モニタリング調査
- ・外来種に関する普及啓発



### 水とみどり

2025年度までの環境目標

樹林地や農地などのまとまりのあるみどりの保全、市街地での新たなみどりの創造を目指すとともに、土地利用の改善や雨水浸透ますなどの普及により、良好な水循環の再生を目指します。

#### ＜2017年度までの主な取組＞

- ・緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り
- ・地域緑のまちづくり
- ・宅地等における雨水浸透、貯留の推進

### 食と農

2025年度までの環境目標

市民が「農」とふれあえる環境があり、食と農の連携によるまちの活性化、新たなビジネスモデルの発信につながる取組を進め、安定的・長期的な農地の保全を目指します。

#### ＜2017年度までの主な取組＞

- ・6次産業化など付加価値を高める取組の推進
- ・水田の保全
- ・地産地消にふれる機会の拡大

### 資源循環

2025年度までの環境目標

3R行動を実践するライフスタイル・ビジネススタイルが定着するとともに、市民、排出事業者、処理業者がごみのことで困らない都市の実現を目指します。

#### ＜2017年度までの主な取組＞

- ・3R行動の実践に向けた広報・啓発
- ・生ごみ等の減量化・資源化推進事業
- ・循環型社会を目指した取組の推進

### 生活環境

2025年度までの環境目標

清浄な大気の中で、様々な生き物がすめる川や海に親しめ、地盤沈下や化学物質等に対する心配や騒音・振動による不快感がなく、ヒートアイランド現象が緩和された安全で安心・快適な生活環境を目指します。

#### ＜2017年度までの主な取組＞

- ・大気環境、水環境、地盤環境の保全
- ・化学物質対策の推進
- ・騒音・振動対策の推進
- ・ヒートアイランド対策の推進